



立真会

質問者

さかもと きみあき
坂本公明 議員

所属議員

はらだ
原田てつよ 議員
みたに わたる
三谷 渡 議員



市政運営に対する市長の思いは

議員 市長1期目の最終年を迎えられ、余すところ半年少々となった。市長の市政運営に対する考え方をたずねる。

市長 第6次笠岡市総合計画は総仕上げの時期となる。ずっと住み続けたいまちの実現を目指した定住促進や笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。これからの笠岡を担っていく若者、子どもたちが希望の持てる市政運営、若者から高齢者が幸福を実感できる施策を第7次笠岡市総合計画でも展開したい



たずねる！福祉行政への姿勢と意気込み

議員 福祉行政は日常生活に直結する身近な分野であり、安全・安心に対するニーズの高まり、少子高齢化の急速な進展などが相まって、ますますその重要性が増してきているが。

市長 全国的な少子高齢化が進み、地域社会の活力の衰退が懸念される。住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていくことができよう、ひとり暮らしの高齢者や障害者、子ども、子育て中の保護者などを地域で支え、地域の一人一人がお互いに声をかけ、つながりを大切にする社会をつくっていかねばならない。



新政みらい

質問者

おおつき たかし
大月隆司 議員

所属議員

たぐちただよし
田口忠義 議員
おおもとますゆき
大本益之 議員

市長1期目の実績と自己評価を聞く

議員 市長の4年間の実績と、現時点での自らの評価をたずねる。

市長 市長就任以来、安定した財政基盤の確立を市政運営における基本としつつ、現状の課題解決と将来へ向けての必要な施策を確実、着実に執行するという考えのもと取り組んだ。公約の施策の一つ一つを検証したところ、平成27年度中に予定する事業が着実に進められれば、おおむね8割以上は達成できる。

議員 どのようなことが笠岡市にとって課題であるのか考えをたずねる。

市長 最も大きな課題は人口減少問題である。第6次笠岡市総合計画においても、定住促進を最重要

学校規模適正化の進捗状況は

議員 創生総合戦略の策定に伴い学校規模適正化の柔軟な対応を行ううとの方針が示された。今後の予定についてたずねる。

教育長 創生総合戦略の期間中は地域とともに一丸となり、地域の活性化等を図っていくため、保護者、地元住民と十分協議しながら、適正化計画について統合年度を固定化せず、柔軟な対応を行う。教育委員会は子どもたちのことを第一に考え、責任を持って進めていく。

